

きずな

2011年12月 8日

NO 864

赤旗井原出張所

井原市井原町103 (TEL 62-6200)

12月5日、井原市議会12月定例会が開会しました。会期は12月19日までの15日間です。5日の開会日、瀧本豊文市長が議案の提案説明を行いました。

その中で、市政の状況や一般会計の補正予算の内容などについて報告されました。報告の概要は次の通りです。紙面の都合で他の案件は割愛しました。

市政の状況等について

本市の新年度の予算編成について

国、県の予算編成等が明らかでない現段階において、的確な見通しを立てることは極めて困難であります。歳入面では、国・県支出金が抑制され、また、安定した法人市民税が見込めないなど自主財源の確保は引き続き厳しいものになると予測されるところであります。

こうした厳しい財政環境の中にあっても「井原市第6次総合計画」に掲げる将来都市像「美しい自然 息づく文化 笑顔でつながるひと 元気発信都市いばら」の実現に向け、市民の皆様との協働により、誰もが健康で笑顔あふれる安全・安心な住みよいまちづくりに、努める所存であります。

このため、予算編成にあたっては、従来にも増して歳出全体の徹底した洗い直しを行い、情勢の変化に的確かつ機動的に対応しながら制度・施策の抜本的な見直しや各経費間の優先順位の厳しい選択を行うことにより、予算配分の重点化・効率化を実施してまいりたいと考えております。

井原市パートナーシップ・プロジェクト事業について

現在、地域の皆様が自らのまちづくりについて考え、実践していくための組織となる「地区まちづくり協議会」等の設立が進んでおります。

各協議会においては、アンケート調査を実施するなど工夫を凝らしながら、課題の洗い出しやその解決策などについて話し合いを進めていただいております。

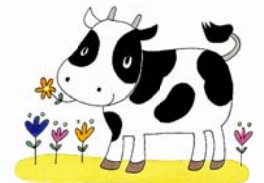
また、その場へパートナーシップ推進員を派遣し、地域の皆様とともにまちづくりに取り組んでいるところであります。

なお、引き続き「協働のまちづくり市民推進室」を活用し、それぞれの地域のまちづくりについて意見交換を行い、分権時代にふさわしい活力あるまちづくりの実現を図ってまいりたいと存じます。

井原市食肉センターについて

本市の食肉センターにつきましては、昭和57年11月から東江原町に開設しご利用いただいておりますが、条例施行後30年を経過した平成24年10月末をもってその効力が失われることとなっております。

したがいまして、本条例に基づき、同日をもって食肉センターを閉鎖し速やかに施設の撤去を行いたいと考えております。



教育関係について

今日、学校教育の始まりである幼稚園教育の果たす役割はますます重要になってきており、一層の充実が求められているところであります。

本市におきましても、幼稚園教育における新たな取り組みとして3歳児教育の拡大を図ることとしており、現在、野上、青野、美星の3園で実施しております3歳児教育を、出部、井原の2園でも実施拡大する計画であります。

また、美星幼稚園で実施しております預かり保育につきましても出部及び芳井幼稚園でも実施することとし、今議会で、預かり保育に係る保育料の条例改正をお願いしているところでございます。

工事関係について

本年度予定しておりました小・中学校における耐震改修工事につきましては全て完了いたしました。これによりまして、市内の幼・小・中の校舎の耐震化率は84.3%となりました。

井原図書館の耐震改修工事について

来年1月末までに完了すべく順調に進捗しているところです。

2面へつづく

井原体育館の耐震改修工事について

1面よりつづく

来年2月末までの完了を目指しております。臨時休館により利用者の皆様方には大変ご迷惑をお掛けいたしますが、何とぞご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

市民病院の医師確保に係る福山市民病院との病院連携について

このたび、福山市において、福山市民病院循環器内科医師による井原市民病院への診療支援の決定をいただきました。

井原市民病院については、地域医療の中核的病院として、質の高い医療提供や市民に信頼される病院づくりを目指し、医療の確保に全力で取り組んでおりますが、地域住民の期待にしっかりと応えるためには、県境を越え、生活圏を視野に入れた、福山市民病院と井原市民病院の連携が不可欠かつ喫緊の課題であると認識いたしております。

このような状況の下、兼ねてより福山市及び福山市民病院に対し、生活圏を視野に入れた広域での医療連携について協力をお願いしてきたところであり、この度の決定に対し心から敬意と感謝を表するものであります。

今回の診療支援につきましては、来年1月から原則として、月2回の循環器内科外来診療をお願いする予定といたしております。

こうした県境を越えた医療連携は、地域住民の皆様にとって今まで以上に安全・安心な医療提供が可能となるばかりでなく、今後の生活圏を視野に入れた総合的な連携への大きな一歩であると感じております。

今後も地域医療の充実に向けさらに努めてまいりますので、ご理解、ご協力を賜りたいと存じます。



予算案件（一般会計）

議案第55号「平成23年度井原市一般会計補正予算（第3号）」についてであります。今回の補正は、職員等の異動及び人事院勧告に伴う人件費、補助事業の決定によるもののほか、緊急を要するものを主体に所要の措置を講じたところであります。

その結果、補正額は2億6,630万円の増額となり、補正後の予算総額は211億2,770万円となった次第であります。その主な財源といたしましては、国県支出金や負担金などの特定財源と前年度繰越金を充当いたしております。

歳出の主なものについて、

人件費補正 各科目において、それぞれ人件費補正を行い、総額で6,670万余円を減額計上。

総務費 地区集会所等整備事業費補助金35万余円、地域づくり事業補助金50万円を計上。

民生費 要援護者台帳管理システム整備委託料、障害者総合福祉システム改修業務委託料にそれぞれ500万円、障害者福祉の扶助費4,360万円、生活保護の医療扶助費4,280万円、子育て関連事業といたしまして、私立保育園実施委託料5,600万円、子ども手当システム改修業務委託料458万余円、四季が丘放課後児童クラブ施設整備工事費1,350万円を計上し、また、子ども手当の支給等に関する特別措置法による子ども手当費9,696万円を減額。

衛生費 飲料水供給事業補助金479万余円を計上。

農林水産業費 めざせJ1園芸作物ステップアップ事業費補助金に1,501万余円を計上。

商工費 追加措置としまして、住宅リフォーム補助金に1,000万円を計上。

土木費 県営道路橋梁工事負担金3,565万余円、交通安全施設整備費2,000万円を計上。

消防費 非常勤消防団員災害補償組合費に3,203万余円を計上。

教育費 体育器具費500万円を計上。

災害復旧費 9月の台風12号災害等により農地農業用施設補助災害復旧費1,128万余円、土木施設補助災害復旧費1,341万余円を計上。



諸支出金 繰越基準に基づく病院事業会計補助金に1億1,778万余円を計上。

この「きずな」は森本ふみお議員のブログ (<http://jcp-seibu.sakura.ne.jp/morimoto/>) でも見れます

生活に役立ち勇気と確信のわくしんぶん[赤旗]をお読みください(月額日刊紙3,400円日曜版800円)